

平成18年7月25日 持続可能な国土管理専門委員会資料

国土の国民的経営の推進方向について

国土交通省 国土計画局 総合計画課

今後の議論の進め方

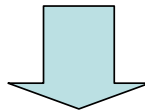
1. 国土管理の全体像

適切な国土管理が行われる上で、国土の国民的経営はどのような役割を担うのかについて整理

- ①国土の国民的経営の目的
- ②今後の国土管理のあり方
- ③今後の国土管理の担い手の考え方

2. 具体的な施策の方向性

国土の国民的経営の具体化や実効性を高めるための工夫について検討



国土の国民的経営の具体化

1. 国土管理の全体像

国土の国民的経営の目的

- 森林や農用地、都市といった国土は、良好なランドスケープの形成、国土保全や水源のかん養など様々な社会的便益を国民にもたらしている。
- 我が国の国土は、これまで適切な利用を通じ形成されてきたが、近年、手入れのされていない森林や耕作放棄地の増加、都市部における空き地や閉鎖された店舗の増加など、適切な管理が行われないものが増えてきており、森林や農業の持つ多面的機能の低下やゴミの不法投棄、防犯上の死角の発生等の生活環境への影響など、国土の持つ公益性が損なわれていくことが懸念されている。
- こうした問題は、これまで主として管理を行ってきた所有者等が、収益性の低下や高齢化の進展などにより、十分な管理を行うことができなくなってきていることに起因しているが、所有者等は資産理上合理的な行動をとっているに過ぎないという見方もでき、所有者の管理責任に期待するだけでは適切な管理を実現していくことは困難である。
- このため、所有者等による管理を包含した新たな管理の仕組みを構築していく必要がある。

1. 国土管理の全体像

国土の国民的経営の目的

- こうした中、環境への関心や社会貢献活動に対する参加意識の高まりなど社会の成熟化に伴い、地域住民が主体となり地域の資源を保全していく動きが広がってきており、こうした国民各層の善意をとらえ、地域住民やNPO、企業など多様な主体が、国土の管理に関心を持ち、積極的な関わりを持つ取組を助長していくことが重要である。
- 以上のことを踏まえ、国土の国民的経営は、所有者等による管理に加え、国土管理に関わる多様な主体による取組についても促進し、その相互作用を生み出すことにより、国土の管理水準を高め、良好な国土を次世代に継承することを目的としている。
- また、国土の国民的経営を推進することを通じ、良好な循環を通じた所有者による適切な管理、善意の参加者への活躍の場の提供、かつて我が国で一般的であった、身近な環境整備を住民自ら行う取組の創造・再生が期待されている。

1. 国土管理の全体像

今後の国土管理のあり方

【これまでの管理】

私有、公有に関わらず所有者等が管理

【今後の国土管理→国土の国民的経営】

(収益性期待)

- ①所有者等による管理
- ②プロへの管理委託

(意識の高まり)

③多様な主体の協働と参加

協働・参加

※「多様な主体」は、労働力、知恵・ノウハウ・資金等を提供し、直接的、間接的に国土を管理

【期待する効果】

- ・適切な国土管理の実現
- ・親しみのある地域づくり(国土への愛着)や土地の持つ公益性の増大
- ・人と国土の深い関わりの実現による、豊かな人生の創造(活躍の場の提供)

1. 国土管理の全体像

国土の全体像と今後の国土管理の担い手の考え方

- 今後、誰が国土管理を担っていくかについて、その方向性は、①所有者等(私有、公有に関わらない)による管理、②プロへの管理委託、③多様な主体の協働と参加の3方向が考えられる。
- 「①所有者等による管理」、「②プロへの管理委託」については担い手となる経営体、事業体等の育成や基盤整備等、産業施策の枠組みの中で施策展開を図るべきものと考えられるが、「③多様な主体の協働と参加」については少なくとも当初は収益性が期待できないことから、産業施策の枠組みの中では考えにくい。
- こうした中、「③多様な主体の協働と参加」については、現在のところボランティアによる森林づくり活動や農用地の管理などが散見されているが、環境への関心や社会貢献活動に対する理解の浸透により、今後さらにこうした動きが拡大していくことが予想される。また、事業者への知恵とノウハウの提供による既存産業の活性化、地域の農産物や間伐材製品の選択購入、寄付、公益性の高い特定の事業への資金提供など、間接的に国土の管理水準の向上に寄与する先導的な取組もみられることから、こうした取組を拡大し、国民が様々な形で国土管理に協働・参加する仕組みを構築していく必要がある

1. 国土管理の全体像

まとめ

国土の国民的経営の推進に当たっては、国土管理に関わる様々な担い手に期待する行動と、現状とのギャップから検討を深めることが必要。

担い手の状況		期待される行動	現状
①所有者等	所有者層(私有)	<ul style="list-style-type: none"> ・適期の手入れ、定期的な見回り等適切な管理 ・手入れの共同化など管理コストの削減 ・基盤整備など所有地の価値を増大させるための投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性が期待できない場合、空き地化、耕作の放棄、間伐の遅れなど、必要な手入れが行われない ・不在村等物理的な距離が離れてしまうことによる、関心の希薄化
	所有者層(公有)	<ul style="list-style-type: none"> ＜所有者等(私有)の期待される行動に加え、次の行動＞ ・低コストでの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・公社等で経営問題が課題となっている
②プロ	専門業者、農地の借り受けや作業受託を行う農業経営体等	<ul style="list-style-type: none"> ＜所有者層(私有)の期待される行動に加え、次の行動＞ ・所有者層に対する管理委託の働きかけ等による事業の拡大 ・販路の拡大、安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に委託先となりうるプロは少数
③多様な主体	関心層	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が居住する地域の再評価 ・町内の草刈、森林や農用地の保安全管理など、身近な国土の管理活動への参加 ・間接的に国土の管理につながる、地域の農産物や間伐材などの選択購入 ・管理活動を行うNPO等に対する寄付 	<ul style="list-style-type: none"> 荒れた農地や手入れのされていない森林についての報道を聞くたびに、何とかならないものかと思っているが、きっかけがないため、積極的には関わっていない
	行動者層	<ul style="list-style-type: none"> ＜関心者層に期待される行動に加え、次の行動＞ ・取組についての情報発信 ・他のNPOや事業者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のNPOや行政が行う森林整備ボランティアなど国土の管理活動に直接参加
	協働者層	<ul style="list-style-type: none"> ＜関心者層の期待される行動に加え、次の行動＞ ・多様な担い手との連携による、シナジーの増大 ・適切な管理手法についての情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 国土の管理活動を続けるうちに、他のNPOや事業者との連携を深め、協働して国土の管理に資する取組を実施

2. 国民的経営推進施策の方向性

国土の国民的経営推進施策の方向

- ・国土の国民的経営の推進施策については、次のような観点から3つの切り口が考えられる。
 1. 所有者等による適切な管理に向けた条件整備
適切な管理に向けた取り組みが行なわれるためには、所有者等が所有地の現況や国土管理の必要性を理解することが不可欠であることから、所有者への普及・啓発（対不在村者含む）、現地調査等現況の把握、所有者情報の共有化、適切な管理を行うプロの紹介等の方向が考えられる。
 2. 多様な主体の育成
環境への関心や社会貢献活動に対する理解の浸透により、国土の管理に直接関わっていかうとする動きが拡大していくことが予想されることから、活動を行うNPOやボランティア等についての情報提供、所有地の管理を委託する所有者についての情報整備等の方向が考えられる。
 3. 国土管理への参加手法の多様化
幅広い国民が国土管理に参加していくためには、直接管理活動に参加するといった形態だけでなく、個々の国民の状況に応じた、様々な参加手法を用意することが必要であることから、間接的な参加手法である、寄付・資金提供の推進、特定テーマについての協働プロジェクトの推進、地域の農産物や間伐材製品等の選択購入等の方向が考えられる。

2. 国民的経営推進施策の方向性

国土の国民的経営推進施策の方向

・こうした3つの切り口から施策を展開することにより、適切な国土管理を推進

